



ゆりこの市議会だより

発行／後藤ゆり子事務所
〒020-0807 盛岡市加賀野1丁目17-3
電話／019-654-2220 FAX／019-654-2231
携帯／090-2366-1036

第50号
2020.夏

盛岡市議会議員《盛友会》後藤百合子だより

ゆりこの盛岡市議会 Q&A

2020(令和2年)
3月5日
一般質問(一問一答)

公文書の「コンマ」見なおし

Q 昨年11月18日、岩手日報紙『なぜ？』

公文書は「コンマ」を使用文化庁「コンマ見直しを検討」市民の反響あり。これまで市にも申しあげたが、とりあわず。しかも、日本語として正しくない「コンマ」使用の経緯は。

A 昭和27年(一九五二年)、内閣官房長官

より通知の、公用文作成の要領による。

Q 文化庁でも現在、テン(読点)「、」の使用

用が増え、問題提起がなされている。市の今後の考えかたは。

A 国の対応を注視しながら検討。自治体もコンマ使用は、少数派となった。

Q 公文書館の整備はどうか。政府による公文書改ざんは、言語道断。盛岡市史の中断も遺憾。公文書館を整備しては。

A 歴史的価値ある公文書は、市民の財産で公文書館は重要だが、施設、人員が必要。他都市を見ながら検討。



新型コロナ等、感染症への対応

Q 新型コロナウイルスの猛威

がはじまり、早速みずからの手でできることから、防備策にとりかからねば。対策に手洗いは重要だが、盛岡の冬は水道水が冷た

い。公共の手洗い場等、温水化を。

A 今すぐは導入できないが、バケツに温水を用意等、対策を。給湯施設の温水化は、1か所あたり、100万円以上かかる。



Q トイレ対策が重要、市のトイレがクラスタ(集団感染)源とならぬように。

A 手洗いの温風乾燥器の使用禁止、使用後の便器洗浄、フタを閉めて、ウオシュレット使用の禁止、等を。

A 現在、権威ある公式の知見を持ち合わせていないが、情報収集をして対応する。(編集部注：この質問により、エアータオルによる手指乾燥の禁止、フタを閉め

ての便座洗浄、各階に手指消毒剤の配備等、市庁舎内で実施)

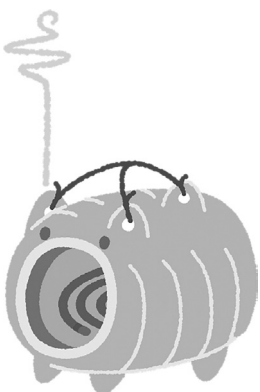
Q コロナ等、感染症にり患の場合、公

共施設職員(例：盛岡市社会福祉事業団の職員であり、各地区の老人、児童、活動センターの館長、館長補佐等)の身分保障は不十分で、なり手不足は深刻。一定期間の自宅待機等、有給休暇を消費後は、欠勤となるが。対応は。

A 現時点では有給休暇で対応。

Q 市経済へのマイナ

ス効果は。会合、イベント、就職説明会、学会等、のきなみ中止、延期で地域経済へのダメージは拡大の一途。



【2020(令和2年)6月22日議案質疑】

◇小中学校の給食運営事業

Q 補正予算により、補助金がでているが、その理由、金額は。

A 令和2年3月4日から学年末休業までの、コロナ臨時休業により発生の、学校給食の食材費につき、学校が納入業者に支払うキャンセル料についての補助。小学校費のうちわけ、牛乳約231万円、米飯・パン154万円、精肉35万円、野菜15万円、合計435万円。中学校のうちわけ、牛乳11万円、米飯・パン6万円、合計17万円。

Q キャンセル料を請求した業者は、全業者63のうち何業者か。また要求しなかった業者はなぜか。

A キャンセル要求は、7業者。要求しない業者は、商品購入に先んじて、発注を取り消したため。

Q 私の調査では、それとことなる。50

を越す業者は、今後の受注を考えて、要求を遠慮したのが実情では。しかし、損失は大。零細業者の取引高は、1月120〜130万円ほど。打撃は多い。それら事業者に、損失補填のため、コロナ関連の補償制度の紹介等はおこなったか。

A 教育委員会では説明等はしていないが、市のホームページ等では、案内。

Q 事業に対して説明すべき。給食事業は食育が第一義だが、事業者の保全、育成も重要。市場でも買参人(小売事業者)の減少はいちじるしく、産業の劣化が懸念される。当局の自覚が必要。

A 今回の休業にさいしては、各業者で状況がことなる。それら状況を聞きながら、必要ならば担当部局と協議して説明するなど、対応したい。



オピニオンボックス

Q 盛岡市において、ついに感染者の発生がありました。もし、感染をうたがひ、検査をお願いしたい場合、どこに行って、どのような検査をすればよいのでしょうか。(K子)



A 新型コロナウイルス感染症の感染有無を判断する方法は、PCR検査や抗原検査など複数の種類がありますが、これについては現在、本人が希望するだけで、検査を実施できるものではなく、あくまでも医師の診察のうえ、医師が総合的に必要性を判断して実施することとなります。

盛岡市において、PCR検査などを実施できる医療機関は、盛岡市帰国者・接触者外来及び盛岡地域外来・検査センターにおいて行うこととなります。息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、高齢者・糖尿病・心不全・呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けていたり、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いたりしている方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合、又は、それ以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合など、感染を疑うような症状がある盛岡市民の方は、必要に応じて受診する医療機関を調整しますので、盛岡市帰国者・接触者相談センターまでご相談願います。

【盛岡市帰国者・接触者相談センター】

電話 019-603-8308 [平日(月)から(金)午前9時から午後5時]

【休日・夜間の緊急連絡先】

電話 019-651-4111 【盛岡市役所代表】

【聴覚に障がいがある方をはじめ、電話でのご相談が難しい方は】

FAX 019-654-5665 をご利用ください。

ゆりこの突撃レポート

【その④】



盛岡の水がめ『御所ダム』の使用権

市から県への移転、産業振興というけれど…… 私たち市議会議員にとってもサプライズ

さる2月、県知事から市長への「工業用水事業への御協力について(依頼)」あり。北上工業団地への工業水供給のため、御所ダムの水源を使用したい、とは、県内では初の事態。協議により、県、市が産業振興にむけて連携協定を結ぶことに。その行方はいかに。盛岡市上下水道部・経営企画課・小笠原美千代課長と水道建設課・山路 聡課長、商工労働部・経済企画課・及川隆課長と、ものづくり推進課・高橋博文課長、都市整備部・都市計画課・滝村敏道課長に、お話をうかがいます。



【はじめに】

□ゆりこ 御所ダム建設にいたる経緯を、岩手日報紙でふりかえれば、約70の記載記事あり、『昭和27年(1952年)5月』、その第一報。北上川水系の5大ダム構想による、御所ダム構築にあたっての諸課題、一大穀倉地帯が水没にどう対応か。『昭和41年9月』、水没住民による、御所ダム対策協議会の結成総会。42、43年、建設予定地の細目調査。44年度着工。48年度完成予定。総工費190億円、高さ50m、長さ334m、ロックフィル型多目的ダム。『昭和43年9月』、建設省では初、国・県・市町の対策機関(連絡協議会)を組織、水没住民の、ダム対策協議会は、絶対反対から再

建計画次第では協力、へと態度を軟化。住民意見に「県の振興は結構だが、県南地区が得をする、そのための犠牲はご免」(注：時代を予見していたか)『昭和47年4月』、着工。先だつ46年12月、水没補償交渉が妥結、約120億円。(注：補償長者はホンのひとにぎり、生活、地域、また産業構造の激変等が待ちうけた) 水没は家屋580世帯、宅地34万㎡、田地364ha、畑地75ha、山林・原野172ha、道路19km。53年度の完成をめざす。規模は、たん水面積6、4km²、貯水量6、500万㎡、洪水調整、約500ha水田の灌漑、また水道の水源は6万4、800㎡/日。『昭和51年6月』、石油ショック以来、国の公共工事抑制策で、本年度予算は21億円、遅延の工事。『昭和52年4月』、45億円の当初予算措置で、工事は本来のピッチへ。遅延による事業予定費は100億円アップか。『昭和55年10月』、本体工事が完成。56年竣工。ダム本格運転は57年4月。『以上、ぼうだい(膨大)な苦難をのりこえてのダム建設でありました。』

「なぜ使用権の移転か」

□ゆりこ 「北上川バレープロジェクト」により、北上市の工場誘致策は隆盛の一途ですが、御所ダム水源が必要となった経緯とは。工業団地の造成にあたって、盛岡市の水源を当てにするとは、意外ですが。

■小笠原課長 岩手県からは、「御所ダム以外にも水源の調査を行ったが、必要水量を確保できる水源は、この御所ダム水源しかなかった。」と伺っております。

「御所ダム水源の現況とこれから」

□ゆりこ 御所ダム水源のこれまでの使用状況はいかがでしょう。『昭和53年4月』の紙面に、人口増が急な盛岡市、1日84、000㎡の水が、20万人の台所をうるおす、その同量を先買い、御所ダム64、800㎡/日の水利権を設定、御所に約4億円、とあり、「盛岡市水道80年記念誌・温故知新」には、水道事業の第5次拡張計画にて、御所ダムに確保の64、800㎡/日のうち、10、000㎡を先取りの形で流してもらい、雫石川表流

水を使用したと、ひつぱく(逼迫)した水需要の状況を記していました。

■山路課長 御所ダム水源は、盛岡市の水道用水として昭和46年度から平成29年度までの間、許可された水源量

64、800m³/日のうち約10、000m³/日を取水しておりました。平成30年度からは水需要が減少したことにより取水は停止しております。

御所ダムの完成は昭和56年でありますが、給水人口の増加に対応するため、建設省(当時)の許可を得て昭和46年度から取水を開始した経緯があります。中屋敷浄水場は御所ダム

水源のほか、栗石川の河川表流水から13、000m³/日を取水する許可を得ておりますので、その範囲内で現在も水道水の供給を継続しております。

□ゆりこ 御所ダム水源を県へ移転したなら、その水を、県はどのように取水し使用するのでしょうか。

■小笠原課長 岩手県におきましては、御所ダムから栗石川へ放流される河川水を河川法の水利使用許可を得たうえ

で、北上市の北上工業団地付近に建設する工業用水浄水場の取水口で北上川から取水し、浄水処理した後、工業用水道として使用するものと、県から伺っております。

□ゆりこ 御所ダム水源を県に移転した後で、災害や事故等により、盛岡地域の浄水場が機能停止となった場合、給水停止等の非常事態はないのでしょうか。そのためのバックアップ体制とは。

■山路課長 非常時の水運用については、主要な配水管の相互融通機能の強化により、盛岡地域にある各浄水場間のバックアップ体制の整備を進めているところであります。

□ゆりこ 盛岡市域には、御所ダム以外の水源として築川ダム水源を確保していますが、その築川水源の利用について、今後の予定はどうでしょう。

■山路課長 築川ダムが令和3年3月に完成予定であり、ますことから、令和3年度以降、沢田浄水場において築川ダム水源から取水を開始し、水道水の安定供給を図ることとしております。

□ゆりこ 御所ダム水源に

関連する対価等の算定根拠についてうかがいます。対価を12億4、515万円と算定です。しかし御所ダム使用権、取水塔等構築物、浄水施設用地、合計、8億4、652万円、そして維持管理、支払利息等、関連経費、合計9億3、419万円、あわせて、17億8、072万円ほど。なぜ5億3、555万円ほどマイナスとなる算定となったのでしょうか。

■小笠原課長 御所ダム水源関連の対価等については、これまで御所ダム水源の一部を使用している状況等を踏まえ、公認会計士及び公営企業アドバイザーの意見等を確認するとともに、岩手県企業局と協議を行い、御所ダム関連経費

のうち、維持管理負担金等、国庫補助金及び交付税措置相当額、構造物



ダム湖百選・御所湖

の減価償却費を除外することとで算定しております。

□ゆりこ 上下水道局における対価等、ただし、一般会計への返還分、1億4、929万円を除いた10億958万円ほどですが、今後どのように有効活用なさるでしょう。

■小笠原課長 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う市民の生活支援のため、水道料金の基本料金(2カ月分)の減免への財源(4億8、102万円ほど)として活用することとしています。また、今後、経済活動の停滞に伴う使用水量の減少が見込まれますので、その給水収益の減収分の穴埋めとして充当することとも想定しています。

「対価についての考えかた」

□ゆりこ 対価の設定は、これまで市が支出した分を、そのまま県に支払いをいただくことで、権利を売却して利益を得ることではないと、理解します。水利権は公のもの、との基本的考え方にもとづけば、やむを得ません。しかし、県におかれては、今後、これを資源として工業用水を売却し、

公営企業を営むのですから、「県と市の産業振興にかかる連携における県の責務」は、極めて重大。市が多大な犠牲を払いい手にいれた資源を放出、対する県の対応が注目されます。北上市に展開する世界的な半導体関連産業を、盛岡市や全県に波及、との県の意向とはどのような事態でしょう。順次うかがいます。

【産業振興の支援強化】

□ゆりこ「北上川バレープロジェクト」は県・市連携により、市の道明地区新産業等用地への立地促進、ヘルステック(注)病気を「予防」「治療」「維持」するテクノロジ―) 関連企業等のクラスター(注)連携して処理や運用を効率化するシステム) 形成等に県が支援強化する、とありますが、具体策はどうでしょう。

■高橋課長 道明地区新産業等用地への立地促進につきましては、医療福祉機器製造業や、県南地区に立地している半導体や自動車関連産業の試作・開発拠点の立地などを誘導したいと考えており、そのための情報収集及び誘致活動

について、県と連携して戦略を立てて取り組むこととしております。

また、ヘルステック集積エリアの形成につきましては、県では工業技術センター敷地内に、医療福祉機器製造業等の研究開発拠点として「ヘルステック・イノベーション・ハブ」を開設しましたが、市としても道明地区新産業等用地内にヘルステック集積エリアを形成したいと考えておりますので、そのための事業手法や資金、支援策などについて、県と連携して検討を進めてまいります。

【物流拠点の整備】

□ゆりこ 物流拠点の整備と機能強化に関しては、いかがでしょう。

■及川課長 本市永井地区には、鉄道貨物輸送の拠点である盛岡貨物ターミナル駅や通関物流基地である内陸保税蔵置場(インランド・デポ)が所在しており、この機能強化とともに物流拠点エリアとしての拡充について、事業者や県と検討を進めることとしております。

【中心市街地活性化】

□ゆりこ なかでも「中心市街地活性化にむけた支援」は重要と考えます。医大の矢巾町移転のマイナス経済効果が深刻です。一方で、バスセンターの整備事業、「もなか」を中心にした中の橋地区の再開発事業にまい進すべき時であります。それについてはいかがでしょう。

■及川課長 ご指摘のとおり、河南地区を含めた中心市街地は今後大きく変わろうとしております。特に、「もなか」という新たな賑わい拠点の整備は、盛岡バスセンター再整備と合わせ、河南エリアがバス交通分野における県都盛岡の玄関口という広域的な機能を担うことも期待されることから、県とも協議しながら、再開発が順調に進むよう後押しをしてまいりたいと考えております。



【内丸団地の再開発】

□ゆりこ 中心市街地活性化、そのなかでも、市庁舎の建てかえ、県庁舎の建てかえ、医大跡地等の再開発等、きつきん(喫緊)の課題である内丸団地の再開発にとりせんざいいちぐう(千載一遇)のチャンスです。前述のバスセンター、もなか・中の橋地区、たんしょ(端緒)についた官民連携による一大投資事業は、市役所、県庁が内丸団地内で機能を果たさなければ、真に成果をあげることはできません。

■滝村課長 内丸地区は、本市のみならず県における政治・行政の中枢を担うとともに、経済、文化、情報、医療等の都市機能が集積しており、中心市街地の活性化や市勢発展を図るうえで重要なエリアです。一方、岩手医科大学附属病院移転や、地区内に立地する施設の老朽化等の課題を抱えており、地区の将来ビジョンの検討が進められているところであり、このビジョンを踏まえながら、県都盛岡の中心拠点機能の維持・向上が図られるよう取り組んでまいり

ます。

□ゆりこ内丸団地の再整備には、県、市、さらに国との連携が必須ですが、具体例として、盛岡駅西口に移転の合同庁舎1号の駐車場を、市役所来庁者に提供願えないか、平成29年12月定例会でいただいた、「国、県に交渉する」と答弁がありました。が、進ちよく状況はいかがでしょう。

民間における中央通地区の再開発事業も進行中です。

■滝村課長 内丸地区の課題に対しましては、現在、市の内部に「内丸地区将来ビジョン検討会議」を設置し、地区の将来ビジョンを検討しているほか、県、盛岡商工会議所、市及び岩手医科大学で構成する「岩手医科大学附属病院跡地利用に係る四者事務連絡会」や、東北財務局、盛岡広域振興局及び市で構成する「内丸地区の将来を考える官公庁連絡会」等、関係期間と連携しながら取り組んでおります。国の第一合同庁舎駐車場の利用につきましては、施設を管理する東北財務事務所から、空きスペースを有償で使用させていただける可能性を確認し

ておりますが、今後の内丸地区の検討を進める中で、地区全体の駐車場のあり方についても課題になるものと考えており、引き続き関係機関と連携しながら検討を進めてまいります。



【最後に】

□ゆりこ 近年、県、市の連携による施策の着手がめざましい。例として新野球場、動物愛護センター、旧岩手県立短大跡地等の整備があります。期せずして、御所湖水源にかわり、あらたな連携が始まることとなりました。時期を同じくして、盛岡バスセンターの再整備、「もなか」を核とする新しいにぎわい拠点の整備、くわえて先述の短大跡地整備、紺屋町番屋の改修、加

賀野地区活動・児童・老人福祉センター改修工事、さらに動物公園の再整備等があります。浅岸地区の区画整理以降、長きにわたりかえりみられることのなかった河南地区にかかわる、市の運命をかけての大事業。その遂行には、市庁舎、県庁舎を内丸団地に再整備と、医大跡地の再整備が欠かせぬ要件。盛岡市のいくたびかの合併に際し、市庁舎の移転が課題となった経緯は承知ですが、県都・盛岡市のあらたな発展のためには、「内丸（パブリックエリア）ビッグプロジェクト」とビッグを冠しての、一大プロジェクトに今こそ着手すべきではないでしょうか。くれぐれも、水利権にもなつて、県庁舎までが北上市に移転、との事態が起こるためにも。



「インフォメーション」

① 市政報告会の延期
ゆりこ議員の市政報告会、7月5日を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、当分のあいだ、延期といたしました。よろしくご了承のほどお願いいたします。

② 新型コロナウイルス感染症対策盛岡市の「赤ちゃん応援特別給付金事業」ですが、子育て世代の負担軽減のため、2020年（令和2年）4月28日から2021年（令和3年）3月31日までに、生まれた子に対して、ひとり当たり10万円を支給します。

【編集後記】

盛岡市議会3月、6月定例会のご報告、また現在にいたる課題等、報じたことであります。新型コロナウイルス感染症、との大局面に直面して私たち各自は、いかにあるべきか。いささかなりとも、参考になりますれば、幸いです。

市政だより「ゆりこの議会だより」は、政務活動費で作成しています。